中学生人権作文コンテスト
太田さん、優秀賞
普代中に全国感謝状も

平成20年度第28回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会がこのほど行われ、普代中3年の太田綾香さんが優秀賞に輝きました。また同中1年の立臼翔大君が奨励賞を受賞、普代中学校（後忠美校長、生徒91人）には、県内で初の法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会感謝状が贈られました。

賞状を手にうれしい（左から）立臼君、後校長、太田さん

優秀賞に選ばれた太田さんの作品は「ステップ1は知る心」と題したもので、「青少年には悪いイメージのある携帯電話は、若者の悩みや闇を知る大切な手段であることを大人も知ってほしい。ステップ1は知る心、ステップ2は聞く心」と訴えました。

伝達式は12月17日、普代中学校で行われ、宮古人権擁護委員協議会の和野崎勝秀会長から太田さんと立臼君に表彰状が、盛岡法務局宮古支局の門間傳支局長から後校長に感謝状が手渡されました。

講評で和野崎協議会長は「普代中は7年連続での応募で人権意識に尽力されました。今後も他人に対して思いやりがもてる生徒を育ててほしい」と話しました。

同コンテストには県内の28校から、2160点の応募がありました。

11会場で意見交換
村政懇談会に96人

平成20年度の村政懇談会が12月3日の沢向地区を皮切りに11日までの延べ4日間、村内11カ所で開かれました。

11会場で96人が参加。村からは深渡宏村長、柾屋伸夫副村長、熊坂伸子教育長、太田敏光総務課長ら13人が各地区に出向いて行いました。

開会で深渡村長は「日ごろ感じていることなどや村政に対する貴重なご意見をお願いします」とあいさつ。引き続き柾屋副村長が前年度の要望事項に対する達成状況を報告しました。

地区民20人が参加した黒崎地区

その後、熊坂教育長が「普代村教育ビジョン」として、平成22年度村内3小学校の統合を進め、将来的には小中一貫校を新設し、住民も生涯学習施設として利用できる新校舎を建設する構想を説明しました。

真剣に答える深渡村長

各地区の皆さんからは、普代小の防災対策や太田名部漁港荷さばき施設の早期完成、避難路の設置や冬季における道路の除雪方法、情報連絡無線の改善などの要望が挙げられました。

また、村からは堀内、白井、黒崎地区の一部ですでに受信できる地上デジタルテレビ放送の難視聴対策として行った村内の受信状況を説明しました。

懇談会で出されたすべての要望や提言は、各課で優先順位などを考慮し対応していきます。

村の説明を真剣に聞く堀内地区の皆さん

村選管委員長に
金子さんを再任

12月30日付で、旭日区の金子誠一さん(64)が村選挙管理委員会委員長に再任されました。

金子誠一さん

また、委員長職務代理に柾谷幸正さん(47＝茂市)、委員に下道カツ子さん(59＝堀内)、正路正敏さん(48＝鳥居)の3人が再任されました。

任期は4人ともに平成24年12月29日までの4年間です。

人権擁護委員に
和村さんを再任

1月1日付で、中央区の和村淑子さん(60)が人権擁護委員に再任されました。

和村淑子さん

伝達式は1月7日、宮古市の盛岡地方法務局宮古支局で行われ、門間傳支局長から和村さんに委嘱状が手渡されました。

任期は平成23年12月31日までの3年間です。

善意の真心届く
困っている人に役立てて

普代中生徒会長の畑俊輔君(3年)が12月11日、役場を訪れ、「文化祭のときに集めたお金です。困っている人にお役立てください」と2万2280円を深渡宏村長(県共同募金会普代分会)に手渡しました。

普代中の畑俊輔君

黒崎小の皆さん

堀内小の皆さん

太田名部子供会の皆さん

12月12日には黒崎小児童会長の嘉村佳那恵さん（6年）ら3人が3601円を募金。同月22日には、堀内小児童会長の赤坂春香さんら4人が役場を訪れ、「心を込めて募金活動をしました。困っている人に役立ててください」と柾屋伸夫副村長に6100円を手渡しました。

太田由香さん(普小5年)と砂合亮太君(同)、うみうの会代表の中田勝実さん(47)の3人も12月24日役場を訪れ、クリスマスイベントの収益金1万8856円を募金しました。

豊漁と安全願い初売式
漁業者らサケ漁の巻き返しに期待

平成21年の太田名部市場初売式が1月5日、同市場内で開かれ、村漁協の鎌倉賢一代表理事組合長ら関係者が大漁と安全を祈願しました。

豊漁と安全を願い鏡開きを行う皆さん

式は水揚げが一段落した午前7時30分から行われ、鎌倉組合長や漁協職員のほか、仲買人組合、定置網関係者、村からは深渡宏村長、柾屋伸夫副村長ら約150人が参集。仲買人組合の赤坂優代表が三本締めで新しい年の幕開けを祝いました。

初網おこしのサケを選別する漁業者

開会で村漁協の鎌倉組合長は「昨年を振り返ると燃料の高騰、金融危機など社会情勢は厳しい。この不況の中だが、牛のように忍耐強く突き進みたい。『普代の元気は浜の元気』。今年は大漁であり良い年であるよう願う」とあいさつ。深渡村長は「村の漁業振興のため、みんなで心ひとつに頑張りましょう」と激励しました。

最後は、関係者による鏡開きが行われ、定置網を代表して宮本安雄さん(秋沼の鼻漁場代表)の音頭で、参集者全員が乾杯。漁業者らは、豊漁と海上安全を願い、今季の「あとひと漁」に期待を込め初売式を締めくくりました。